

ESD レポート

ESDとは「持続可能な開発のための教育=Education for Sustainable Development」の略。環境・貧困・人権・平和など、私たちが直面するさまざまな問題に取り組み、豊かで公正な未来を創造するための「価値観」と「スキル」を育む、未来創造型の学びです。「国連持続可能な開発のための教育の10年(ESDの10年)」が2005年からスタートし、世界各国で取り組まれています。

地球と社会のための“人づくり”応援マガジン

vol.33

2014年春 2014年3月12日発行

認定 NPO 法人「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議



“国連ESDの10年”の総括年 がやって来た！

いよいよ 2014 年がスタート

2005年から始まった“国連ESDの10年”もついに2014年を迎えました。10年間の総括会合である「ESDに関するユネスコ世界会議」が今年の11月に日本で開催されます。“持続可能な社会”の実現に向けて、この世界会議をみんなの力で成功させ、2015年以降も続くESD推進のための新たな出発点としましょう。

2014年
ESD関連
イベント
スケジュール

	岡山	愛知	各地 (左記を除く)
4月			27日 ESD埼玉ミーティング (さいたま市)
5月		上旬 ESD-T(東海)ミーティング(予定) 日付未定 半年前イベント(予定)	23-24日 多摩地域ミーティング (東京都多摩市・稲城市) 31日 ESD地域ミーティングin四国 (愛媛県松山市)
6月			日付未定 茨城地域ミーティング (水戸市) (予定) 下旬 (仮称) ESD市民提言ワークショップ (東京都) (予定)
7月			日付未定 九州地区地域ミーティング (北九州市) (予定)
8月	10日 こどもエコクラブ&ESDフォーラム in 岡山	上旬 (仮称)市町村ESDシンポジウム(予定) 9日 こどもエコクラブ&ESDフォーラム in 愛知	20-22日 「ESD地球市民村」事業 (東京都渋谷区)
9月		下旬 ESD MSHダイアログ2014(予定)	
10月	8日 アジアのESDに関するNGOネットワーク(ANNE)立ち上げワークショップ 9-11日 ESD推進のための公民館-CLC国際会議 9-11日 岡山のESD交流発信の場(予定)		 10月25日-11月9日 北海道大学サステナビリティ・ウィーク (北海道)
11月	4-7日 第9回グローバルRCE会議* 4-8日 岡山のESD交流発信の場(予定) 6日 オープニングセレモニー 6-8日 ユネスコスクール世界大会* 7日 ユース・コンファレンス*	上旬 子ども会議(予定) 上旬 あいち・なごやのESD交流・発信の場(予定) 10-12日 閣僚級会合及び全体の取りまとめ会合* 13日 フォローアップ会合*	

(注1) *:「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」の会合。

(注2) 2014年2月20日現在、ESD-J事務局にて把握し、かつ開催が確定している2014年度のイベント情報のうち、「ESDに関するユネスコ世界会議」に関連して各地で開催される主要なイベント情報のみを掲載しています。

「ESDに関するユネスコ世界会議」は、岡山市と愛知県・名古屋市を開催地として11月に実施されます。これに伴い、さまざまなESD関連イベントが2014年には開催される予定です。これらのイベントは、愛知や岡山だけではなく各地において地域ミーティングや会議・イベントなどの形で行われます。ESD-Jは、各地の地域ミーティング、6月のESD市民提言ワークショップ(仮称)、8月の「ESD地球市民村」事業の開催を推進していきますが、これらは今後のESD推進に向けた提言づくりの場ともなる予定です。また、10月には、アジアの

ESDに関するNGOネットワーク(ANNE)の立ち上げワークショップのほか、ESD推進のための公民館-CLC国際会議が岡山で開催されます。そして11月の「ESDに関するユネスコ世界会議」では、閣僚級会合及び全体の取りまとめ会合が愛知で、ユネスコスクール世界大会などステークホルダーの主たる会合が岡山で開かれます。これらの会議にどのような方が参加できるのかは各会議やイベントによって異なりますので、必ず各会議のウェブサイトなどを確認してください。(ESD-J事務局 長澤正嘉)

※個別のイベントの内容については、以下のウェブサイトなどをご参照ください。

- 岡山ESDプロジェクト http://www.city.okayama.jp/esd/esd_00023.html
- 「ESDの10年・世界の祭典」推進フォーラム <http://www.desd.jp>
- ESD-J <http://esd-j.org>

- ESDユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会 <http://www.esd-aichi-nagoya.jp>
- 北海道大学サステナビリティ・ウィーク <http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/jp/>

2015年以降に向けて

「官民協働でESDを推進する仕組み」をつくらう！

ESD-Jは2003年の設立以来、ESDを「政府を含む多様なステークホルダーが一丸となって進めたい」と願い、政府には省庁連携と官民協働のベースとなる「ESD推進円卓会議」の設置や活性化を働きかけてきました。また、全国各地で多様な主体の協働によるESDの創出や普及を、民の立場から推進してきました。

2014年という重要な節目の年にあたり、これまでの10年間の活動成果や課題をふまえ、地域主導・多様な主体の協働等を柱とした「2015年以降のさらなるESD推進に向けた体制づくり」に、関係者の皆さまとともに取り組む準備を進めています。

■ ESDは多様な主体の協働がカギ

ESDでは「つながり」「多様性」「主体性」などを重要なキーワードとしています。そしてこれらの価値観や態度、力を育む場を生み出すためには、学校、NPO、企業、自治体など多様な立場の、多様な関心をもった大人や子どもたちが、交流し学びあう場をつくっていくことが大切であり、各地にその実践が広がっています。さらに、多様な主体の協働による学びの場をつくっていくために、北九州市、岡山市、気仙沼市などの先駆的にESDに取り組んできた地域では「ESD推進協議会」がつくられ、主体間の交流や学校支援、協働プロジェクトなどの基盤となっています。

■ ESDは実践地域がけん引する

現在、地域によってESDに関する温度差はありますが、愛知県や多摩地域など、行政区単位で、または行政区を越えて、協働によるESDを生み出す基盤づくりに取り組んでいる地域が増えてきています。

今後は、それらの成果がもっと多くの人々に知られることで、ESDに取り組む地域が拡大していくと考えます。

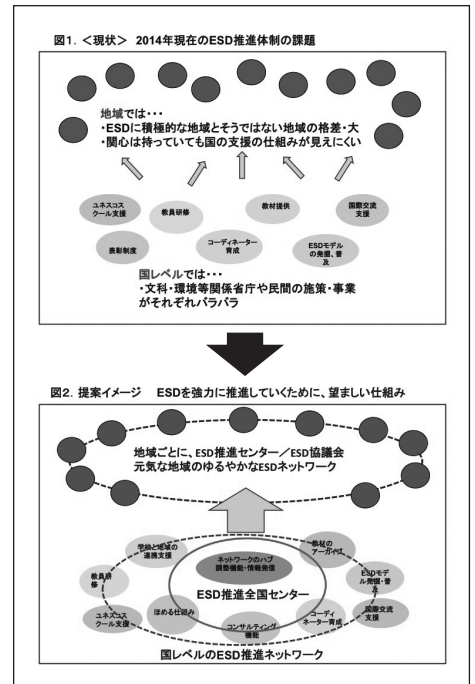
ESD-Jは2014年、このような動きの全国各地への広まりを後押しすべく、ESD地域ミーティングの開催をよびかけています。地域ミーティングでは、それぞれの地域におけるこれまでのESD活動の成果を確認するとともに、2015年以降におけるESDの展開やそのための仕組みなどが議論される場となります。

■ 地域のESDを支援する国レベルの仕組み

また、上述のような地域の動きを支え、応援する国レベルでの仕組みが重要であると考えています。現在は、文部科学省や環境省などによって行なわれている施策・事業、また多様なNPOや大学によって提供されている研修や教材などの情報がばらばらに存在しており、「ESDを始めよう」と思った人には、やさしい支援環境にあるとは言えません(図1)。施策の調整を図り、連携を促し、適切な情報を広く周知することにより、地域におけるESDを支援することができるような仕組みとして、「ESD推進全国センター(仮称)」もしくは「ESD推進ネットワーク」を構築することが重要だと考えています(図2)。

■ 官民協働で新しい仕組みをつくらう！

これまで、ESD-Jの全国ミーティングや、共催事業の地球市民会議などで、今後のESD推進に際して必須となる機能については議論を重ねてきました。たとえば、ESDコーディネーターの育成やESD教材のアーカイブ化、コンサルティング機能や様々なESD活動を顕彰する機能などですが、ほかにも重要な機能があるかもしれません。



ESDを推進していくためにはどのような機能が必要か、それを実現するためにはどのような体制や仕組みをつくっていくべきか。ESD-Jは、そういったことを、上述の地域ミーティング開催地や2015年以降もESDが広がってほしいと願う皆さまと一緒に議論し、提言にまとめ、国内外にアピールすべく、「ESD市民提言フォーラム(仮称)」の場づくりの準備を進めています。

(ESD-J代表理事 重政子)

新メンバー紹介

2団体、10名の方が
新メンバーに加わりました。

9~2月

団体準会員	ピースポート
個人会員	10名(関東6名、北陸1名、近畿2名、九州1名)
賛助会員	アサヒビール株式会社

編集後記

早いもので「ESDの10年」もとうとう2014年が来てしまいました。この10年間でESD(持続可能な開発のための教育)という概念や言葉は、いつたいどのくらい普及したのでしょうか? 活動の実践者の方々にはある程度は認知されてきているようにも思うのですが、まだまだ一般の方々への認知度は低いように思います。そうした中で11月には世界会議が開催されます。「ESD」という言葉だけではなく、その概念が2015年以降も広く人々に浸透していけるよう、世界会議を新たなスタートラインとして考えたいと思います。(ESD-J事務局 長澤 正嘉)

認定NPO法人「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議(ESD-J)

http://www.esd-j.org/ e-mail: admin@esd-j.org

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-38-5 日能研ビル201 TEL:03-5834-2061 FAX:03-5834-2062

● 会員募集中: 正会員(10,000円)、準会員(3,000円) 詳しくはHPをご覧ください ●

発行: 認定NPO法人「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議
編集: ESDレポート編集チーム レイアウト: 河村久美



この印刷物は、適切に管理された森林の認証木材から作られた紙と、輸送マイレージに配慮し、米ぬか油を使用したライスインキで印刷しています。

